

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 11/30 第13号 文責 上田
学校教育目標 「探究心を持って未来を創造し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」

12月是人権月間です。

1948年12月10日に国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、12月10日を「世界人権デー」とし、日本では12月4日から10日を「人権週間」、12月を人権月間としています。世界人権宣言の第1条は、「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」としています。つまり、基本的人権は生まれながらにして全ての人に保障されているのです。しかし、現実の社会では、差別意識がなくなっていません。「障害がある方への差別」「外国人への差別」「女性への差別」そして「同和問題」など例をあげれば次々と出てきます。差別意識をなくしていく第一歩は他者を思いやる気持ちをもつことだと考えます。社会にはさまざまな価値観があり、さまざまな考え方があります。しかし、往々にして他者のことを自分と同じ価値観、考え方と独りよがりにとらえがちです。そして、他者が自分と違う言動をすると他者への攻撃が始まることがあります。まず、他者の自分とは違う価値観や考え方を共有することから始める必要があります。このことが他者を思いやる気持ちにつながります。他者の思いを想像して言動を行うことが大切なのです。

本校では、先週より人権学習を実施しています。1年生は「障害のある人達への接し方を考える中で、バリアフリーを考える」、2年生は「外国人問題と共生について考える」、3年生は「同和問題にスポットをあて、人権問題を考える」をテーマにしています。一人一人の生徒が人権への思いを新たにしてくれることを願っています。

認証式

11月25日(木)に新生徒会本部役員と後期学級委員の認証式を行いました。まず前生徒会長が退任のあいさつをしてくださいました。どの生徒も双ヶ丘中学校を少しでもよい学校にしようと全校生徒と協力しながら活動してくれたことに感謝します。生徒会活動で得たことをこれからの学校生活に活かしていってください。

その後、新生徒会長をはじめ新生徒会本部の皆さんに認証書を渡し、代表として会長があいさつをしてくださいました。あいさつを聞いているとこれからの生徒会活動への意気込みを感じました。活躍を期待しています。続いて後期学級委員の皆さんを認証し、代表生徒に認証書を手渡しました。



大会結果

*ソフトテニス部

近畿中学生ソフトテニス選抜インドア大会 京都市予選
団体の部 ベスト16

個人の部 SK・TMペア ベスト16

近畿中学生ソフトテニス選抜インドア大会 京都府予選
個人の部 SK・TMペア ベスト16

※SK・TMペアは12月26日(日)滋賀県長浜市で行われる近畿中学生ソフトテニスインドア大会本戦に出場します。健闘を期待しています。

全国学力・学習状況調査結果概要

5月27日に実施された「全国学力・学習状況調査」結果を考察しました。今年度は、国語と数学の2教科のテストと同時に、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施されております。調査結果を踏まえ、生活習慣や学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

(裏面にまとめを載せております。)